

子どものストレス ネットでチェック

子どもが受けているストレスの度合いをインターネット上でチェックできる心理検査の利用が道外の学校や塾で進んでいる。いじめなど子どもを取り巻く環境を改善するのに役立ててもらおう狙いで、千歳市のNPO法人次世代育成ネットワーク機構（木村栄治理事長）が運用し、道内でも導入の動きが出始めている。

（西田美樹）

千歳のNPO法人が運用

同機構は2005年に京都の学習塾で講師が生徒を刺殺する事件が起きたのをきっかけに、07年、全国の塾関係者が設立。木村理事長は心理検査を開発した会社の経営者でもある。

心理検査は「CVCL（チャイルド・ボイス・チェック・リスト）」という名称。主

心身の不調、適応力を分析



す木村理事長

「心理検査で子どものストレス度合いが分かります」と話

の不調、学校への適応力、いじめをしたりされたりする傾向など16項目についてコンピュータが分析。各項目を数値化したグラフやアドバイスを判定結果として表示する。学校単位で利用する場合は全校生徒のストレス傾向が分かるほか、各家庭にも子どもの判定結果を通知する。

08年度に運用を始めたところ、いじめ撲滅に取り組んでいる東京都多摩市教育委員会などを通じ全国で約5千人の小中学生などが利用。09年度は塾などにも広がり、4倍の約2万人に増えた。

多摩市教委では、08年度から小学5年生と中学2年生を

対象に検査を実施。市立青陵中の加藤隆太郎校長は「学校のパソコン教室で回答する方式を取っており、生徒が取り組みやすい。子どもが無自覚だったストレスに気づくことで、教員も対処しやすくなる」と話す。

道内でも導入の動きが出ている。千歳市PTA連合会（中村通夫会長）は、市内の全小中学生と保護者を対象に検査実施を検討中。同時にアンケ

ートを取り、将来的には市教委に導入を働きかけたい考えだ。中村会長は「親としては問題が起こる兆候を少しでも早く発見したい。小学校と中学校の情報共有にも役立つはず」と話す。一部の学習塾でも近く採り入れる予定だ。

同機構の木村理事長は「子どもは心の問題を周囲の大人に話さない傾向がある。この検査で客観的に状況を把握し、指導に役立ててほしい」と話している。検査は同機構（☎01233・42・0611）に電話で申し込んでIDとパスワードの発行を受ける。HP（http://www.isodai.net/）から利用できる。料金は後払いで、学校は1校につき上限10万円、個人は1500円。HPから直接申し込む場合は個人3500円。

子ばなし

◇頼もしい袋

川上聡君（7）旭川市

食料品を買いすぎてエコバッグに入りきらなかった時のこと

母「入りきらない...どこに入れよう」

聡「じゃ、おなかの中に入れちゃえば」

（母の清子さん）

◇長いといいな

小林菜々子さん（7）後志管内余市町

祖母「夏至は昼の時間が一番長い日なんだよ」

菜々子「学校の昼休みも一番長い日なの？」

（母の美紀子さん）

楽しい「子ばなし」をお寄せください。郵便番号、住所、親子の名前（ふりがな）・年齢、電話番号を書いて、はがき、ファクス、電子メールで、生活部「子ばなし」係へ。